

県立高校の建築物の安全性の確認、安全確保のための措置について

平成30年9月25日に知事から教育委員会に対し要請のありましたこのことについて、現在の対応状況は以下のとおりですので報告します。

1 要請内容

○県立高校の建築物が適切に管理され、生徒・教職員等の安全が確保されるよう、以下の確認・検討を行い、その結果を報告してほしい。

- 現時点で耐震対策が未完了の県立高校の建築物について、地震に対する構造耐力上の安全性の再確認
- 地震に対する安全確保のためのさらなる措置の検討
 - ・近隣代替施設の利用や施設利用の見直しなど管理運用面の工夫
 - ・補強・補修工事 など

2 確認、検討状況

(1) 地震に対する構造耐力上の安全性の再確認

ア 耐震化未完了の建物

本年度の補強工事完了後の耐震化未完了の県立高校の建物は、9校・21棟となる。

奈良朱雀高校	教室・管理棟 2 棟
奈良高校	教室・管理棟 3 棟、渡り廊下棟 1 棟、屋内運動場 1 棟
生駒高校	屋内運動場 1 棟
郡山高校	教室棟 1 棟、屋内運動場 1 棟
山辺高校	教室・管理棟 3 棟
磯城野高校	教室棟 1 棟
大宇陀高校	教室・管理棟 2 棟、格技場 1 棟
王寺工業高校	教室棟 1 棟、屋内運動場 1 棟
高田高校	教室棟 2 棟

イ 耐震性能及び構造物の状況

耐震化未完了の9校21棟のうち、11棟（奈良朱雀高校2棟・奈良高校4棟、郡山高校1棟、山辺高校2棟、大宇陀高校1棟、高田高校1棟）については、「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い」とされる構造耐震指標（ I_s 値）が0.3未満の建物である。

また、これらの建物について、コンクリートの状況を見ると、低強度であることから補強では対応できないものがある。

このような建物については、使用停止などの対応策について検討している。

(2) 地震に対する安全確保のためのさらなる措置の検討

①耐震化の予定

耐震化未完了の9校21棟のうち、3校（奈良朱雀高校、生駒高校、高田高校）の5棟については耐震補強工事により、5校（郡山高校、山辺高校、磯城野高校、大宇陀高校、王寺工業高校）の11棟については改築（建て替え）等により耐震化を図る。

また、奈良高校の5棟については、県立高等学校適正化実施計画のとおり、改築よりも早く対応できる平城高校跡地への移転により対応する。

②耐震化までの措置

耐震化未完了の9校の建物のうち、地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い建物については、早急に安全確保の措置を実施することとし、その対応案を検討している。具体的には、建物の使用について再検討し、校内での代替運用や、仮校舎、校外施設利用など代替施設の確保等による対応を検討している。

既に、奈良高校において、渡り廊下棟について10月11日に使用中止としたところである。

奈良高校のその他の建物についても、仮校舎の設置により生徒・教職員等の安全を確保することを検討している。

なお、仮校舎を設置することとした場合でも、仮校舎の完成まで一定の期間を要すると考えられることから、設置までの間の安全確保の措置として、校外施設（旧城内高校学舎）を活用する案もあわせて検討している。

また、奈良高校以外の8校についても、必要な対応案が検討でき次第、報告を行う予定。